

学校教育用れきはく動画コンテンツ「弥生時代の集落と社会の様子」教師用指導略案（歴博第1展示室）

【目標】ジオラマや関連する展示物について調べ、弥生時代は、大陸から伝来した米などの穀物の栽培や、鉄器や青銅器などの金属器が生活や社会に変化をもたらしたことを理解することができる。

【展開】※設問、問題が出た後は、しばらく画面を止めて、児童生徒が考える時間を確保する。

ワークシートの設問は、その都度画面を止めるか、動画を一通り見た後で実施してもよい。

主な発問（○）と予想される児童生徒の反応（・） 注釈（※）	指導上の留意点（◇）
<p>【動画の時間 0:10～】</p> <p>○縄文時代と弥生時代の集落を比べてみましょう。</p> <p>・弥生時代の集落のまわりには壕や柵があるが、縄文時代の集落にはあまり見られない。</p> <p>○縄文時代と弥生時代の集落をさらにくわしく見てみよう。</p> <p>・弥生時代の集落には、周りに柵や壕、逆茂木、乱杭、土塁、壕をもつものがある。</p> <p>【動画の時間 1:36～】</p> <p>○弥生時代になると、集落の周りに柵や壕がつくられるようになりました。なぜでしょうか。</p> <p>・戦いが起こるようになったから。</p> <p>・田んぼの用水や新しい水田を造るための適した土地。食べ物（米倉）など守りたいものがあったから。</p> <p>○これは何でしょう。 答「首の根元に刺さった石剣の切っ先」</p> <p>○この人はどのような人でしょう。 答「弥生武人」</p> <p>【動画の時間 2:48～】</p> <p>○争いがあったと考えられます。何をめぐって争ったのでしょうか。</p> <p>○これは何でしょうか。 答「石包丁」</p> <p>・石包丁（稲穂を摘む道具）。</p> <p>○何をたくわえたのでしょうか。</p> <p>※コメ、アワ、キビなどの穀物や種もみなど。</p> <p>・米、道具、食物。</p>	<p>◇縄文時代と弥生時代の集落の違いに着目させるようにする。</p> <p>◇専門的な用語(逆茂木、乱杭、柵、土塁、環壕)などは指導者が説明を加える。</p> <p>◇なぜでしょうか。と問いかける場面では、しばらく画面を止めて、児童生徒が考える時間を確保する。</p> <p>◇どうして柵や壕が必要だったのか考えさせるようにする。</p> <p>◇人の背骨、弥生武人から、柵や壕ができるようになった理由を考えさせるようにする。</p> <p>◇集落や、人の背骨や兵士の画像から争いがあったことに気づかせ、さらには何をめぐって争ったのかを考えさせるようにする。</p> <p>◇石包丁、高床倉庫から、米づくりの普及が、人口増加につながり、増えた人口を養うために、新たな土地と水が必要となって、争いが起こることにつながっていると気づかせる。</p>

○「水田稲作の始まり」について見てみましょう。

○ネコがいることで、役立ったことは何でしょう？

- ・ネズミを退治した。
- ・コメを守ることとなった。

【動画の時間 4:23～】

○弥生時代の人びとは何をめぐって争ったのかをまとめよう。

- ・コメを作るための土地や水をめぐる争いが原因になった。
- ・倉庫に貯えた食料や種もみ。

【動画の時間 5:00～】

○鉄器や青銅器も伝わりました。

※鉄器は工具、武器、農具として使われるようになるのは、前4世紀以降。

※銅鐸はお祭りで鳴らすベルとして、銅鏡は太陽の光を反射するので魔除け、銅剣・銅矛・銅戈は武器。

※動画に映っている銅鐸は、日本で大型化したもの。渡ってきた当初は、馬鐸とよばれる、馬に着ける小さなベルだった。

【動画の時間 5:51～】

○なぜ○○年前と年代がわかるのでしょうか。

- ・様々な分析機器で調べる。
- ・遺跡から発掘されたものから調べる。

※歴博は、水田稲作が始まった「弥生時代」が、通説より500年早く、紀元前10～9世紀に始まった可能性が高いことを発表した。(2003年)

◇稲作の始まりは水田遺構の発見によること、さらに大陸から九州北部に伝来して、約700年の年月をかけて北海道と南西諸島を除く列島各地に広まったことを紹介する。

◇水田稲作が大陸からやってきたこと、その数百年後にネコや金属器が伝来したことを紹介する。

◇コメを作るための土地・水。食料や種もみ。などをめぐって争いにつながったことを確認する。

◇鉄器は農具としての「鉄製の斧」、青銅器は、「銅鐸」「銅鏡」「銅剣・銅矛・銅戈」が伝来したことを紹介する。

◇「銅鐸」はコメの豊作を神に祈願するまつりで鳴らす道具だったこと、「銅鏡」「銅剣・銅矛・銅戈」は九州北部の権力者の墓の埋葬品だったことを理解させる。

◇青銅器はめずらしく価値の高いものであったことを知らせる。

◇土器のススに含まれている「炭素14」の濃度で何年前のものかを知ることができることを紹介する。